市長とミライとーく　報告書

令和７年４月２３日

日　　時	令和７年４月２１日（月）　午後４時３０分～午後６時００分		
会　　場	関商工高等学校　１号館製図室		
対 象 者	高校生、大学生、社会人	参加者	１４人
テ ー マ	関市の建設業の未来について		
担 当 課	財務部　管財課		

テーマ①『建設業で働くことについて』

【参加者からの意見・提案】

学生側

・夏の現場は暑いため大変そう

・危険な現場もあり、けがをしそうで怖い

・お金も大事だけど、休みや勤務時間も大切にしたい

社会人側

・建設業は大変だけど、建築物が完成した時の達成感がとても良い

・数年前までは違ったが、徐々に土日休みが基本となり有給休暇も取りやすくなった

・女性の職人もいるが、ネイルをするなど自由な働き方が進んでいる

・建設業は人手不足な為、働く上で何を大切にしたいかを明確にして就職先を選ぶと良い

・働く上で一番大切なことは、人間関係だと思う

テーマ②『関市の取り組みについて』

【参加者からの意見・提案】

・建築現場の視察は行っているが、土木現場も見たい

・木造の新築現場を見たい

・職人が作業している現場を見たい

・会社に足場組体験施設があるため授業で体験すると面白いのでは

・デカ木組合を通して、現場を見るのも良いのでは

テーマ③『関市の公共施設について』

【参加者からの意見・提案】

関商工高等学校

・工業科トイレが商業科と比べると汚いため地獄のようだ

・工業科女子トイレが水の流れが弱く、流せないときはバケツで水を汲んで流している

・和式便所を洋式便所にして欲しい
・外でお弁当を食べる場所が欲しい
関商工高等学校以外の公共施設
・地域性がよくわかる建物があると良い
・どこに行くにもインフラが悪いため人が寄りにくい
・学びの森のような若者からお年寄りまで幅広い世代で楽しめる施設が欲しい
・子供が遊べる施設があると良い

【担当者の考え】
　今回のミライとーくを通して学生が建設業で働くことについて不安を持っていることが分かったため今後も学生と社会人を繋ぐ場所の提供をする必要があると感じた。関市の取り組みについては、授業では体験できないような現場視察を考えたい。また、より良い公共施設を作るために設計時や施工時にワークショップを積極的に行っていきたい。関商工で開催したこともあり、工業科のトイレ問題が発覚したため今後対応する。

【今後の対応】
・学生向けの現場視察の開催
・関市民向けのワークショップの開催
・関商工の工業科トイレの改善

〇ミライとーくの様子